

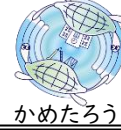
学校教育目標：「向学 自主 協働」

校訓：「夢を実現」



川通中だより

令和6年5月2日 第2号
さいたま市立川通中学校
TEL 048(799)1061
川中キャラクター ホームページ



～スローガン：「一生懸命はかっこいい」～

潤いの花を咲かせよう

校長 鈴木 純

藤の花の鮮やかな紫色が陽光を浴び、赤や白、そしてピンク色のツツジの花々が私たちの目を楽しませてくれています。

早いもので、新年度がスタートして、ゴールデンウィークの時期となりました。学校では、休み時間の生徒たちの歓声とは対照的に、静粛に真剣なまなざしで臨んでいる授業での姿が見られます。新学期が始まってから、あっという間の1カ月間でした。

つい先日、離任式が行われ、離任された先生方が本校を訪れてくれました。わずか1カ月ほど会わなかっただけなのに、なぜか懐かしさがこみあげてきたことと思います。去られた先生方のお話を伺って、川通中を愛していらしたのだなとつくづく感じた次第です。

ところで、生徒のみなさんは、新しい生活に慣れましたか？1年生のみなさんは部活動が本入部となり、本格的に始動しました。2年生は、連休が明けると、管弦楽鑑賞教室です。オーケストラの迫力ある響きが楽しみです。3年生は、修学旅行に向けて準備を進めています。全校では、生徒総会、学校総合体育大会と行事が目白押しです。忙しい中ですが、意識を高くもって取り組んでください。

さて、前述のツツジですが、サツキとなかなか見分けが付きにくく、あやふやなところがありましたので調べてみました。こんな時にインターネットって便利ですね。写真付きで出てきますから、目で見て比べることができます。念のため、今の季節に咲いているのが「ツツジ」です。ただ、これもややこしいですが、「サツキ」は、「ツツジ」の一種で、俳句で夏の季語になる「サツキ」は「サツキツツジ」のことだそうです。俳句の季語として、「躑躅(ツツジ)」と書いてあれば春の歌、「臯(サツキ)」と書いてあれば夏の歌となるとのこと、歌人たちは見分けていたんですね。以下は詳しい見分け方です。



【ツツジとサツキの違い】(ベネッセ教育研究所出典)

- ・花が散ってから新芽が出るのがツツジ、新芽が出てから花が咲くのがサツキ
- ・葉が出るよりも先に花が咲くのがツツジ、葉が出てから花が咲くのがサツキ
- ・新芽や葉に生えている細かい毛が緑色なのがツツジ、茶色なのがサツキ
- ・4月中旬～5月上旬に開花するのがツツジ、5月中旬～6月中旬に開花するのがサツキ

普段なんどきなしに見る風景も刻一刻と移り変わっていきます。みなさんが通学してくる道のりも季節を感じる景色があちらこちらにあると思います。先人たちは、この季節の移ろいを詩や歌に残し、その時の感動を現代の私たちに伝えてくれています。川通中でも、敷地内に季節の移ろいがわかるように、そして、みなさんの目が和むように、様々な花や植物を植えることによって、心に潤いをもたらされるようにしていきたいと考えています。「こんな花があるといいな」「ここにこんな色の花が咲いているといいな」など、みなさんの声を聞かせてください。

「🌸みどりゆたかに、みんなのハートもこころゆたかに🌸」